

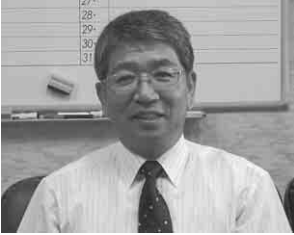
〔長木小学校〕
校長 青柳 正隆さん

「どうとうその時が来たのか」というのが学校部活動の社会体育移行に対する今の素直な心境です。私が教員に採用された当時から社会体育化は言われていて、部活動の過熱化、勝利至上主義など、小学校部活動への逆風も吹いてたからです。先輩の先生たちは、その都度、最善の方法を模索しながら学校部活動を進めてくださいました。

学校体育連盟では「部活動を語る会」を開催し、部活動の意義や実践紹介を通して、効率的な練習方法などを学び合い、また「週二日の休み」や「活動時間は2時間以内」などの申し合わせ事項を決め、部活動の過熱化へ対応してきた経緯があります。諸先輩が残してくれたこれらの実践は、今も後輩に受け継がれています。

しかし、児童数の激減など、ここ数年間で学校を取り巻く状況が急激に変化し、また、指導にあたる先生の高齢化や遠距離通勤の問題も生じ、学校だけでは子どもたちのスポーツ環境の整備と競技力向上の取り組みは限界にきていると感じています。

子どもたちが一番求めていることは、「やりたいことを、思いっきりできる」



行長 青柳 正隆 さん
 移り変わる環境の中で、子どもたちが安心して活動できるようにしたい

ことです。少子化によるチーム編成・部活動存続の危機、やりたい部活動がなく選択の自由がない状況、専門的な指導者がいないなどの問題を解消するためにも「社会体育移行」の時期が来たのだと思います。

スムーズな移行を進めるため、学校として取り組まなければならないことは、これまで蓄積してきた子どもと保護者と教師との良好な関係をいかに維持していくかということです。

まだ完全移行までには時間があります。関係団体との話し合いや開放型体育館の一部整備も必要でしょう。一つ一つの課題をクリアしながら、安心して子どもたちがスポーツ少年団活動に移行できるようにすることが、私たちの役目であると思っています。

〔みなみスポーツ少年団〕
代表指導者 菅原 昇さん

現在、南学区では少子化の影響によって小学校に限らず中学校でもこれまで行われてきた競技が廃止になるなど、部活動の存続が深刻な状況で、自分がやりたい種目が無いなどの理由で部活に所属しない、いわゆる帰宅部の児童も出てきたことから、その子どもたちにスポーツを通して仲間意識や自立心を養う場を提供したいという思いで2年前から活動しています。

26年度からの地域への移行にあたっては、できるだけ選択肢のある複合型スポーツ少年団が望ましいと考えています。また、それを支えるクラブ後援

会に代わる育成母集団には、町内会や婦人会、老人クラブなどの地域団体のほか、企業などにも参加していただき、団員やその保護者たちはスポーツだけではなく、地域活動などにも積極的に参加するなど、スポーツ少年団と地域が一体となった組織が形成されたいと思います。運営は児童の保護者だけではなく、地域全体で取り組むことが必要で、私自身、地域の子どものために指導者として様々な形で関わりたいと思います。

活動場所は基本的に小学校体育施設になりますが、南小学校のほか数校がまだ開放型施設になっていませんので、26年度の完全移行に合わせて制度や施設の整備が必要と感じています。

移行後も小学校との連携は欠かせませんし、行政の支援なども必要と考えますが、地域全体で一步一步前進しながら、それぞれの地域に合ったスポーツ少年団の育成を望みます。

地域との一体感を持った移行を目指す菅原代表



みなみスポ少の練習中のミーティング風景

編集を終えて

5月号から4回にわたり連載しました小学校運動部活動の社会体育化。「学校から地域に」「先生から専門指導者に」と簡単に言えるものではないと痛感し、様々な角度から考えさせられました。

この連載を通して感じたことは、次の2つです。

①代表者・指導者に必要なものは熱意と行動力

これさえあれば必ず良い仲間が集まり、地域が協力してくれることを取材した皆さんが示してくれました。

②地域のみならず関わりましょう！

「練習を見に行く」「子どもたちに声を掛ける」など、ちょっとした関わりでいいと思います。できる範囲で活動に関わるだけで、地域に根差した素晴らしい団になっていくはずですよ。また、先生たちも地域の一員として、これまでの知識や熱意を生かして関わりを持っていただければ鬼に金棒です。

多くの団体がこれから具体的な行動に移ると思われますが、それを阻害する課題については、大館市小学校スポーツ協議会などで検討し、スムーズに移行できるように解決します。

子どもたちが、地域の皆さんの近くで生き生きとスポーツを楽しむ環境を目指して大人が力と知恵を出し合い、これまで以上に楽しい地域創出のため、子どもたちと一緒に社会体育化を成功させましょう！